

こんにちは健康組合です！

# 株式会社 池田自動車運輸

の巻



池田和彦社長

「激動の二〇世紀」の終焉とともに二一世紀が幕を開けました。希望に満ちた新世紀を待ち望んでいますが、蓋を開けてみると米国の景気低迷の煽りを受けた株価の下落やわが国のトップの危機管理能力や資質が問われているなかでの政治不信等、二〇世紀の呪縛を払拭しきれない問題が山積しています。

「激動の二〇世紀」の終焉とともに二一世紀が幕を開けました。希望に満ちた新世紀を待ち望んでいますが、蓋を開けてみると米国の景気低迷の煽りを受けた株価の下落やわが国のトップの危機管理能力や資質が問われているなかでの政治不信等、二〇世紀の呪縛を払拭しきれない問題が山積しています。

社会は大きなうねりのなかで変革の時期を迎え、脱皮を図ろうとしています。

前日は風雨が吹き荒れ、春が一步遠のいた感がありました。取材日の三月五日は一転して青空に変わり、暦の上での啓蟄とあいまって、春風光る気配を肌を感じながら私たちは目的地に向かいました。

◇◇◇

飛躍する年のトップバッターにふさわしく、事業所訪問の第三九回目にお邪魔したのは、印旛郡栄町に所在する株式会社池田自動車運輸です。

池田自動車運輸は、茨城県との県境、利根川沿いにある矢口工業団地内にあります。後の取材でお聞きしましたが、社屋を市街地からこの工業団地に移転したことによって、民家への環境問題の解消はもちろんのこと、近隣の企業との交流などで情報交換がしやすくなったとのことでした。

ました。

同社は現在、「ロジステック・プロフェッショナル」を掲げる東芝物流をメインとした取引先との業務展開をされておられるそうです。池田自動車運輸の経営方針が、各社との友好なパートナーシップを築かれながらますます発展されることと、私たちは確信しました。

創業八〇年近く、老舗意識を捨て経営に取り組む

次に、同社の歴史についてお聞きしました。

池田自動車運輸は大正十三年の創業で、当時は「乗合乗用車」を業とされていたそうです。その後、昭和二十九年に本格的な運送事業を始められ、この年が実質的な設立元年と伺いました。

平成五年には倉庫関連部門を分離し、「アイケー物流株式会社」を設立され、運送部門の「株式会社池田自動車運輸」とともに両輪として、将来の事業展開を視野に入れた戦略を練られておられるようでした。

創業から数えるともうすぐ八〇年に手が届くといった長い歴史がありますが、「いまや老舗が通用するよう

た。

前日は風雨が吹き荒れ、春が一步遠のいた感がありました。取材日の三月五日は一転して青空に変わり、暦の上での啓蟄とあいまって、春風光る気配を肌を感じながら私たちは目的地に向かいました。

池田自動車運輸は、茨城県との県境、利根川沿いにある矢口工業団地内にあります。後の取材でお聞きしましたが、社屋を市街地からこの工業団地に移転したことによって、民家への環境問題の解消はもちろんのこと、近隣の企業との交流などで情報交換がしやすくなったとのことでした。

取り扱う産業は異なるものの、異業種の状況を把握することは非常に有意義とのことで、この工業団地が産業情報発信基地として機能している

「中小企業でできる福利厚生事業には限界があり、健保が主催する事業には意義がある」「事業に参加することによって、共通の目標ができた」と、事業の中止を氏は残念がられました。

「中小企業でできる福利厚生事業には限界があり、健保が主催する事業には意義がある」「事業に参加することによって、共通の目標ができた」と、事業の中止を氏は残念がられました。

「中小企業でできる福利厚生事業には限界があり、健保が主催する事業には意義がある」「事業に参加することによって、共通の目標ができた」と、事業の中止を氏は残念がられました。

「中小企業でできる福利厚生事業には限界があり、健保が主催する事業には意義がある」「事業に参加することによって、共通の目標ができた」と、事業の中止を氏は残念がられました。

るとお聞きしました。

寒風吹く経済状況下、自然体の教育により人心を掌握

私たちは、事務室を訪ね「こんにちは健康組合です！」とあいさつし、快く出迎えてくださった池田和彦社長との対談が社長室で始まりました。

冒頭、健康保険組合の現況説明を

申し上げましたが、池田社長は高齢者医療を含めた医療保険制度の将来のあり方等について興味深く耳を傾けられ、「国民皆保険」を維持するためには、国民や政治家の意識を改革して、既存の器を壊す勇氣も必要ではないかと語ってくださいました。

次に話題は企業運営に移行しました。対談の最後に、池田社長の「企業経営も自分だけが良ければでは成り立たない。地域への貢献なくしては業界の底上げにつながらない」とのお言葉が印象的でした。「ドライ」といわれている現代社会のなかで「自己」を重んじることはもちろん必要ですが、失われつつある地域社会との共生や「他」への思いやりのウエイトを今一度点検してみることが大切ではないでしょうか。

地域社会との共生「他」への思いやりを大切に

対談の最後に、池田社長の「企業経営も自分だけが良ければでは成り立たない。地域への貢献なくしては業界の底上げにつながらない」とのお言葉が印象的でした。「ドライ」といわれている現代社会のなかで「自己」を重んじることはもちろん必要ですが、失われつつある地域社会との共生や「他」への思いやりのウエイトを今一度点検してみることが大切ではないでしょうか。

ハード（物）の整備に走ってきた二〇世紀から、ソフト（心）の再点検をする二一世紀へシフトすることの重要さが氏の言葉と重なり合い、家庭・学校・社会それぞれ教育現場においても欠かせないキーワードになるのではないかと感じたところでした。

まだまだ話題は尽きませんでした。が、ご多忙のなか時間を割いて取材にお付き合いくださった池田社長に

景気の回復は芳しくなく、依然として厳しい状況にあることはいうまでもありません。加えて運賃は下がったままである反面、人件費や燃料費は減少には転じないことから、増収減益の状態が恒常化しているとのことでありました。

同社はこの改善策として効率を求めた配車や社員個々の資質の向上に努められ、顧客に対し必要不可欠な物流として定着することに最大限の力を注いでこられたそうです。

わが業界では、ドライバー一人ひとりが「営業マン」といわれ、実際に現場で働く方々の言動が企業運営の一端を担うといっても過言ではありません。しかしながら、個々のクオリティーを高めることは、とても難しいことだと思えますが、「相手の心を感じるドライバーを育成したい」と池田社長は明言されました。

まだまだ寒風が吹く経済状況下で、地道に業績を伸ばしてこられたことや、中間管理職が充実してきたとの成果をお聞きした裏付けとして、池田社長は「教育する立場としてはまだまだ自分は甘い」と謙遜されました。しかし氏の自然体の教育が人心を掌握し、同社の経営のシステムが上手に機能している賜と見受けられ

お礼を申し上げ、今日の取材を終えました。池田自動車運輸の皆さん、ご協力ありがとうございました。

帰路につき私たちは車を利根川沿いに走らせました。利根川といえはご承知のとおり、水源を群馬県等に発し流域面積では国内一を誇っています。

また、別名「坂東太郎」とも呼ばれています。これは、古くは相模国の足柄山・箱根山以東が坂東と呼ばれ利根川が坂東随一の河川であり、日本の河川の長男ということからそう呼ばれたそうです。

蛇足ですが、坂東太郎に対して九州の筑後川が「筑紫二郎」、四国の吉野川が「四国三郎」と呼ばれるようになったそうです。

「万葉集」にも詠まれた大河「坂東太郎」に語る術があれば、息づく悠久の歴史を聞いてみたい、そんな空想を描くのは私たちだけでしょか。

息づく悠久の歴史を聞いてみたい、そんな空想を描くのは私たちだけでしょか。